

2016年（平成28年）度 学校評価 学校関係者評価の結果（報告書）

<p>教育活動及び学校運営等の取組状況や目標の達成状況について</p>	<p>○保護者・地域の方々とのコミュニケーションを大切にし、学校・家庭・地域が連携して「心の教育」が推進するよう努めるという重点目標のもと、「思いやりの心」を育てることの難しさや子ども同士の関係性の希薄さなど考慮すべき点が多々ある。 ○学年が上がるに連れ、生徒と教師の間で互いの理解の深まりが感じられる。 ○保護者の評価傾向は学年間で大きな差がなく、どちらかというと同傾向にある。</p>
<p>次年度に向けた教育活動及び学校運営等の改善に関する意見</p>	<p>○不登校生徒への支援において、学校での人間関係や家庭環境を考慮した対応を心がけ、自分を評価してくれるという意識を持たせることが必要である。 ○進路情報をはじめ学校からの情報発信の大切さを認識しながら、保護者との連携を密にすることが求められる。 ○学力面だけでなく、行動面も中学生として成長できるよう努めていただきたい。</p>
<p>学校関係者評価の結果を踏まえた今後の改善方策について</p>	<p>○六会中らしい特色ある教育活動を展開し、伝統を継承しつつ時代に即した適切な生徒の育成に努めていく。 ○子どもたちとの関わりを大切にしながら、保護者との連携をさらに深め、生徒・保護者から信頼される学校づくりに取り組む。 ○一人ひとりの生徒を多くの教師の目で看取り、個に応じた温かい指導・支援が行えるよう、授業改善や魅力ある授業づくりに取り組む。</p>